

生命創薬科学科(4年制)のカリキュラムツリー

(2024年度以降入学生)

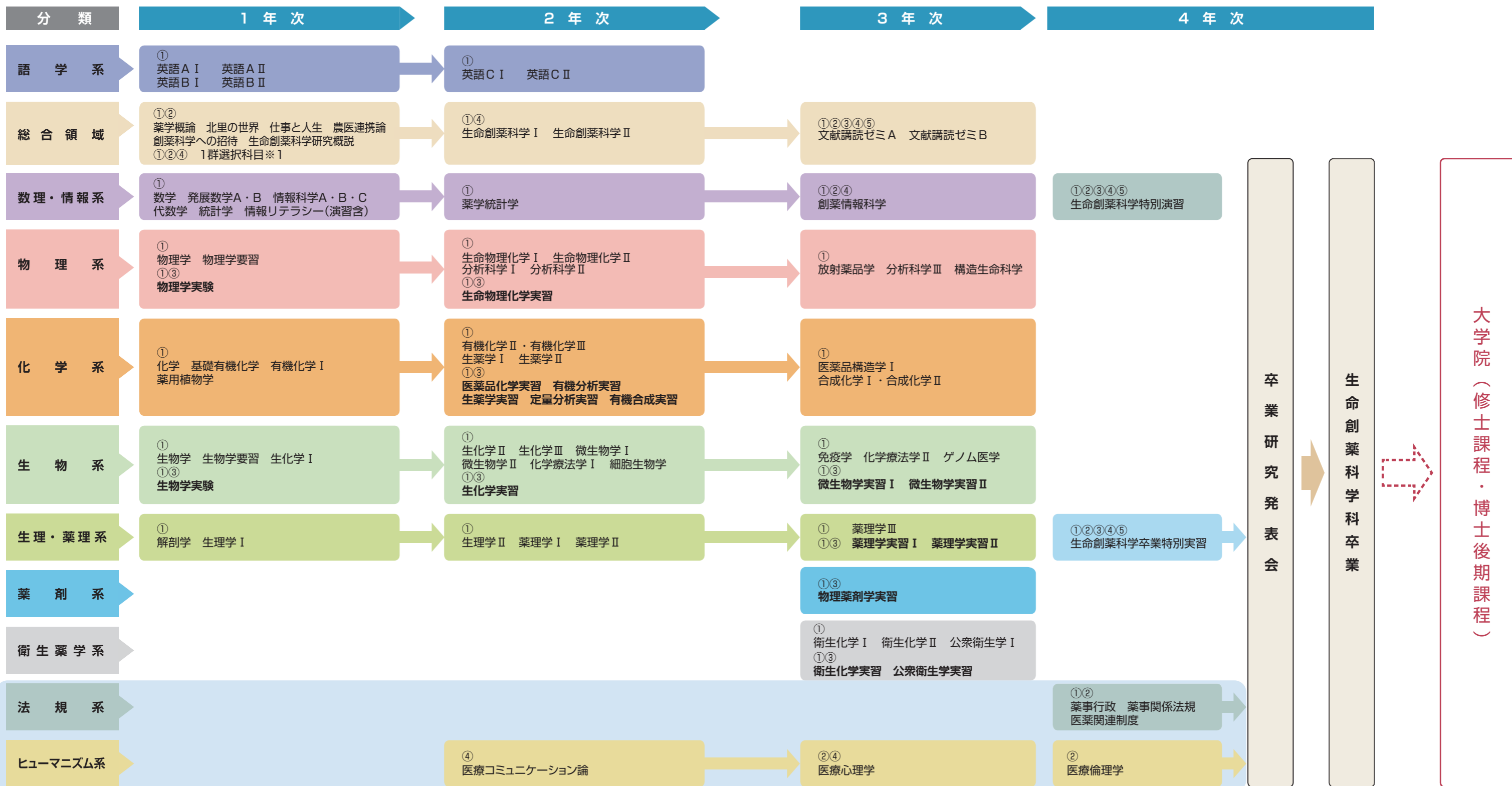
ディプロマ・ポリシー (DP)

人材育成目標(卒業生が身につけるべき資質・能力)

生命創薬科学科では、生命科学・創薬科学等の領域における研究者・技術者をはじめとして、薬学関連領域の幅広い専門知識・技能をもって様々な分野で活躍できる人材を育成します。
卒業に必要な条件を充足し、下記のプログラムの到達目標に示された資質・能力を身につけたものに対して学位を授与します。

プログラムの到達目標(目標としての学修成果評価)

- ①薬学関連領域における幅広い専門的な能力
- ②研究活動における高い倫理観
- ③薬学関連領域の進歩と改善に資するための研究遂行意欲と課題発見・問題解決能力
- ④課題発見・問題解決や研究成果の社会還元に必要なコミュニケーション・プレゼンテーション能力
- ⑤自立的・協働的な生涯学習の姿勢



生命創薬科学科の学びの特徴

知識と教養を身に付け、多角的に物事をとらえる力を養う一般教育科目(1群科目)と、薬学の基礎専門科目(2群科目、3群科目)を学ぶ。また、企業の研究所、研究機関とも連携して実施される「創薬科学への招待」、研究イメージを早期から意識する「生命創薬科学研究概説」を学ぶ。
※1「1群選択科目」:「文化の領域」「社会の領域」「教養演習系」に属する科目が該当

1年次

生命活動や薬の効き目を分子レベルで学ぶため、物理化学系、生化学系、薬理学系などの基礎専門科目を学ぶ。また、実習科目を通じて、研究に役立つ実験の手法や実験結果の解決法を身につける。

2年次

創薬研究の各段階で必要となる知識や研究情報の概要を学ぶ「創薬情報科学」「創薬化学」などより高度な専門科目を学ぶ。

3年次

「生命創薬科学卒業特別実習」を1年間実施し、卒業研究を仕上げる。